

☆☆図書室だより☆☆ ☆第19号☆

☆☆- 図書委員会よりお知らせ -☆☆



2014年12月(後期)～2015年4月(前期) 新規登録の書籍をご案内します

書名(ご寄贈書)

著者名など

はじめてのボンヘッファー S.R.ヘインズ/L.B.ヘイル著 船本弘毅訳 教文館 [青 198.3852 Ha]

「イラストでよむ神学入門シリーズ」のうち、船本先生の訳本です。

宗教座談 岩波文庫 青 119-9 内村鑑三著 岩波書店 [茶 198.99 U]

後世への最大遺物 デンマルク國の話 岩波文庫 青 119-4 内村鑑三著 岩波書店 [茶 198.99 U]

NHK Eテレで再放送中の「道をひらく 内村鑑三のことば」にて紹介の、数ある著作物の中から…

(寄贈書のつづきは裏へ…)



書名(購入書)

著者名など

改革教会信仰告白集 基本信条から 現代日本の信仰告白まで 関川泰寛他編 教文館 [茶 198.31 Se]

図書室には『改革派教会信仰告白集』(全6巻)があるが。この本はそこには収められていないニカイア、カルケドン、アタナシウス、使徒信条の四基本信条を第一部とし。第二部に『ジュネーブ教会信仰問答』『ハイデルベルク信仰問答』などから『バルメン宣言』までを集載。第三部に日本の各種信仰告白を収める。信仰を確立するために読みたい信仰告白・問答集。(m)

マルティン・ルター ～ことばに生きた改革者 德善義和著 岩波書店 [茶 198.3852 To]

ルター研究に生涯をかけている徳善先生のルターの生涯とその信仰・教えの簡潔な入門書。ルターの開いたプロテスタント信仰がどのように確立していったかを教えられる。(m)

エンキリディオン 小教理問答 マルティン・ルター著 リトン ルター研究所訳 岩波書店 [茶 198.385 Lu]

来る2017年は宗教改革500年記念の年。それに向けて出版された一冊。ルターの『小教理問答』の新訳。エンキリディオンとは「キリスト者(信徒)必携」の意味。父親が子供から「これはなんですか?」との信仰の問い合わせに答える語り口を徹底させた。我々の日本基督教団『信徒必携』『信仰問答』と併せて読むと信仰とはなにかを確信する。(m)

一致信条書：ルーテル教会信条集 信条集専門委員会訳 教文館 [茶 198.38 Shi]

ルターの唱える聖書を唯一の基準とする信仰をあらわした諸信仰告白文集、ルーテル教会の信条集。『アウグスブルク信仰告白』『シュマルカルデン条項』『小教理問答』『大教理問答』『和協信条』などを収める。しかしそれらはルーテル教会だけではなくプロテスタント諸教派の聖書受容と信仰の明確化を教えられる。(m)

ヨハネの黙示録を読もう 村上伸著 日本キリスト教団出版局 [橙 193.8 Mu]

黙示録 ～イメージの源泉 岩波新書 1472 岡田温司著 岩波書店 [橙 193.8 O]

列王記下 ATD旧約聖書註解9 E.ウェルトワイン著 山吉智久訳 ATD・NTD聖書註解刊行会 [黄 193.25 A 9禁]

サムエル記下 現代聖書注解 W.ブルッゲマン著 矢田洋子訳 日本キリスト教団出版局 [黄 193.24 B 禁]

フランクル人生論入門 広岡義之著 新教出版社 [黒 113 Hi]

(…つづき)

書名(ご寄贈書)	著者名など						
カエサルくんと本のおはなし	いけがみしゅんいち 文 せきぐちよしみ 絵	福音館書店	[黒]	020.2	I]	
カエサルくんとカレンダー	2月はどうして みじかいの?	"	福音館書店	[黒]	449.3	I]
出家とその弟子	岩波文庫 緑 67-1	倉田百三 著	岩波書店	[黒]	912.6	Ku]
エックハルト説教集	岩波文庫 青 816-1	田島照久 編訳	岩波書店	[黒]	132.2	Hc]
聖書を読む	中村うさぎ 佐藤優 著	文藝春秋	[橙]	193.21	Na]	
私のヴィア・ドロローサ	「大東亜戦争」の爪痕 をアジアに訪ねて	村岡崇光 著	教文館	[黒]	210.7	Mu]
キリスト教入門	岩波ジュニア新書 792	山我哲雄 著	岩波書店	[赤]	190	Ya]

鑑賞して…



『キリスト教入門』 山我哲雄 著 岩波ジュニア新書792 岩波書店 2014年12月

たまに「キリスト教入門」「キリスト教案内」的な本を読むと著者が神様を信じているか、いないかによって記述に違いがあるようを感じる。無神論者や他の宗教を信じる著者には、「なにか違和感」がある。近年話題の『ふしぎなキリスト教』(槁爪大三郎・大澤真幸)もそんな気がした。そして、反対にキリスト者の著書は未信者にとっては壁があるのでないかと思う。この山我哲雄氏の『キリスト教入門』はその両方を感じなかった。ユダヤ教(旧約聖書)を基礎にして教えを説くイエス様、それに続くパウロ・教父らがどのようにキリスト教を確立していったか。そして、宗教改革から現代日本のキリスト教各教派などの解説まで、知りたいところをわかりやすく歴史的に、さらに教義に基づいて記述されている。もとには著者のイエス様を信じている姿勢を感じる。青少年向きの叢書の一冊ではあるが、一般読書人さらに信徒にとっても得難い入門書である。(m)



…先生の著書より…

『啓示の神 《女性牧師説教集・3》 ●アドベント—ペンテコステ』

女性教職神学研究会 聖文舎

イースター 主はよみがえられた マタイ二八章一一十 大宮チエ子 著

“主はよみがえられた、……出会ってくださるキリストに「近寄り」、…キリストを主として生きるものに…(p.42 l.3)”と、‘イースター’のメッセージは力強いです。花芽が顔を出すこの季節にキリストが呼びかけてくださることに、新しく生まれかわれるかも…と勇気を与えられます。繰り返される聖句(IIコリント5:17)「だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、すべてが新しくなったのである。」が身近になります。‘ペンテコステ’の章では、女性の牧師先生たちの優しいお話によって「聖霊」というものをときあかしてくださっています。(Ri)